

はじめに

調布市では、都市計画道路と生活道路が、体系的・機能的に連携した道路ネットワークを形成することを目的として、平成28年3月に調布市道路網計画を策定しました。

この度、現計画の策定から約8年が経過し、最新の社会経済状況や市を取り巻く状況等に対応した計画となるよう、計画改定を進めます。

道路網計画の改定に向けてのポイント

- ① 道路網計画は、都市計画道路を対象とした「広域道路網計画」と生活道路を対象とした「地区内道路網計画」により構成します。
- ② 最新の社会経済状況、市民や様々な道路利用者の特性、市の道路整備状況、まちづくりの進展等に対応した計画となるよう、計画を改定するとともに、新たに生じた課題の解決に向けた取組の対応策を検討します。
- ③ 市民ニーズ等を計画に反映するために、広範かつ多様な市民参加の機会を積極的に確保します。
- ④ 計画検討の各段階において、有識者からの技術的助言や市民参加等であいただいたご意見を踏まえながら、丁寧に検討を推進します。

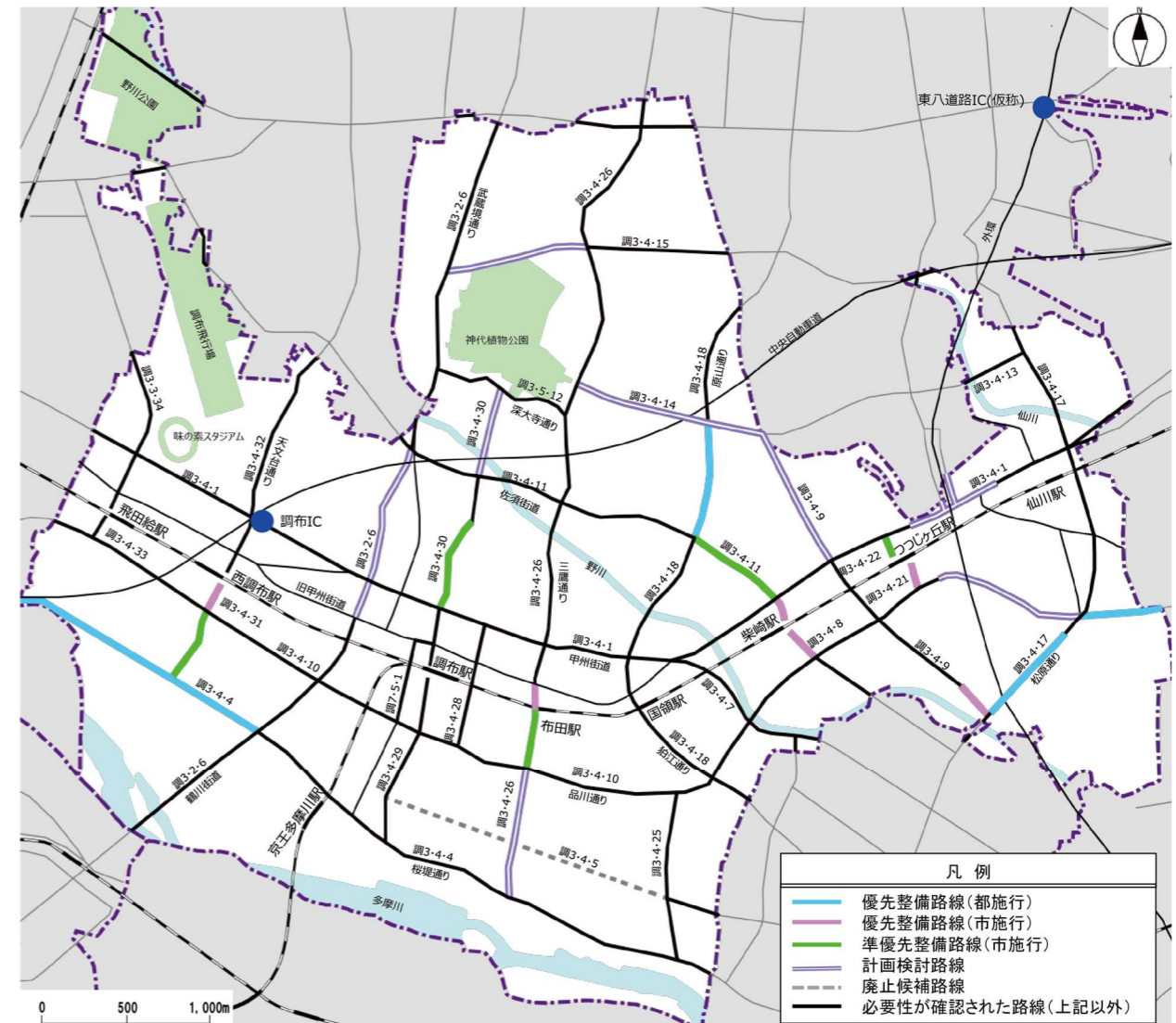


▶「調布市におけるこれからのみちづくり 調布市道路網計画」パンフレット

1. 道路網計画とは

道路網計画とは、「調布市都市計画マスタープラン」に掲げる将来都市像の実現に向けた関連計画のひとつとして策定したもので、東京都と区市町で策定している「東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)」とも整合を図っている計画です。

市は、本計画に基づき、市内の道路整備を推進しています。

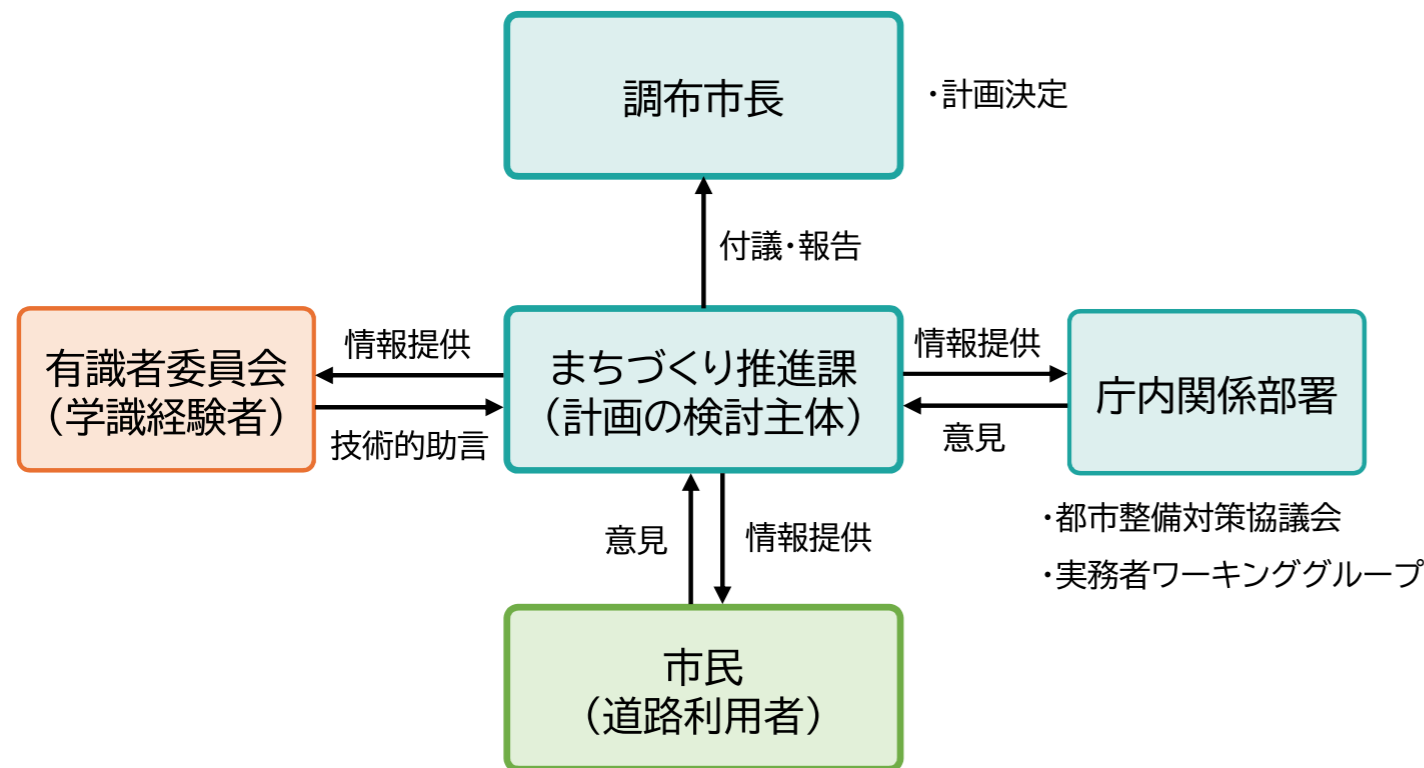


「調布市におけるこれからのみちづくり-広域道路網-」(抜粋)



2. 検討体制

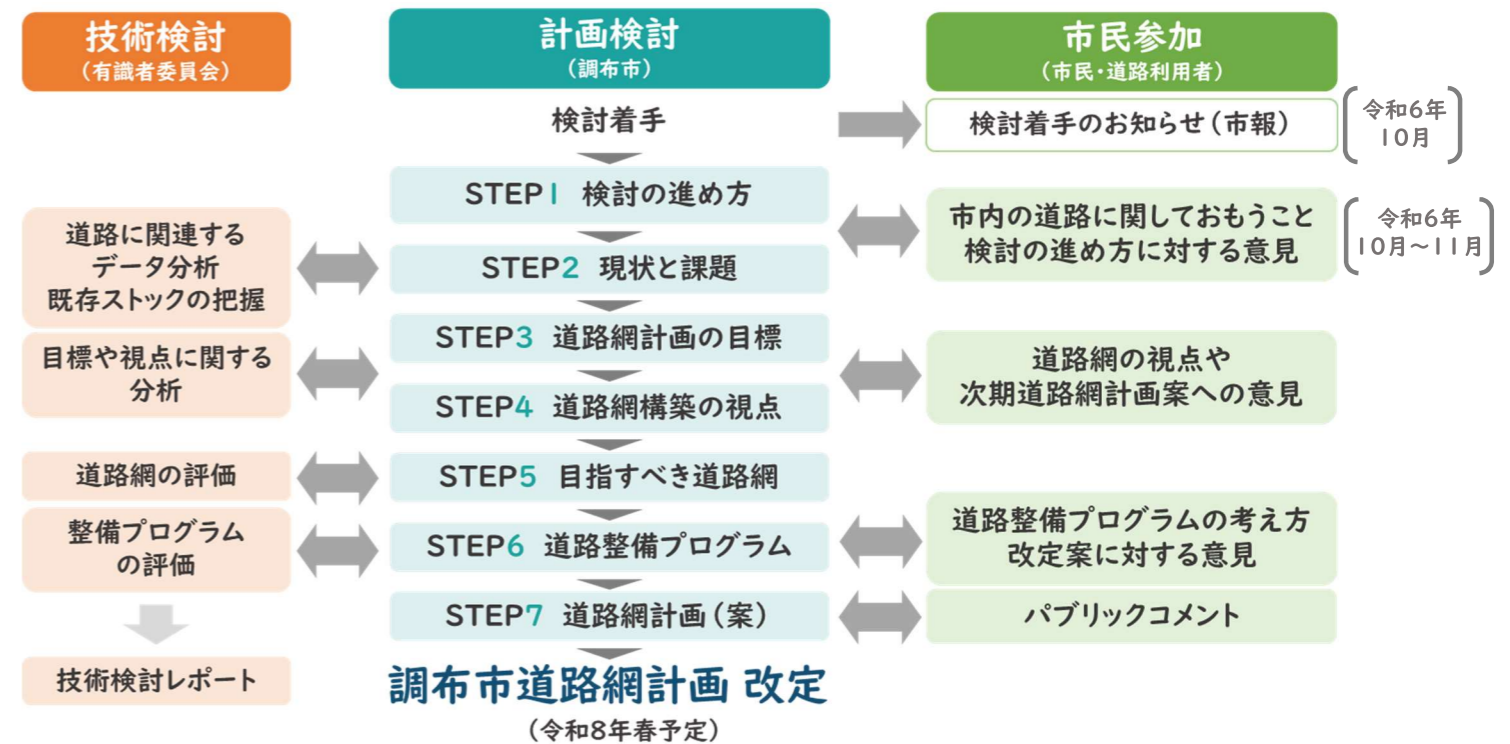
- 公平性及び客観性を確保するため、有識者を含めた検討委員会を設置し、意見や助言をいただきながら検討を進めます。
- 市民や様々な道路利用者の特性やニーズを十分に反映した計画とするため、様々な手法の市民参加の実施や道路利用者にヒアリングを行いながら検討を進めます。
- 庁内で横断的な連携を図るため、庁内会議を設置し、情報提供や意見交換を行いながら検討を進めます。



3. 検討プロセス(検討スケジュール)

道路網計画の改定に当たっては、現計画の策定プロセスと同様に「計画検討」、「技術検討」、「市民参加」を並行して実施しながら検討を進めていきます。

また、各計画検討のタイミングにおいて、様々な市民参加手法を用いながら検討を進めていきます。



市民参加の考え方及び手法

- 検討の進め方など初期の段階から、オープンハウス(みちの井戸端会議)*やアンケート等による意見聴取、パブリック・コメント手続等、広範かつ多様な市民参加の機会を積極的に確保します。
- 意見聴取に当たっては、オープンハウス(みちの井戸端会議)*の実施場所や実施時間の工夫、Webアンケートの導入など、創意工夫を重ねながら、次世代を担う若年層をはじめ、幅広い年代からの意見把握に努めます。

*オープンハウスとは、説明パネルを展示し、市職員が対面形式で市民の皆様のご意見等をお聴きする、市民参加の手法です。また、親しみやすい場をイメージして、愛称を「みちの井戸端会議」としています。

